

令和 8 年 度
広島 か き 生 産 出 荷 指 針



広島 県

は じ め に

令和7年度の広島かきの生産は、昨年と同じく7月以降天然採苗が順調で、種苗が安定的に確保されていることから、生産目標の年間2万トンに回復することが見込まれる中で始まりました。

しかしながら、令和7年9月以降に県内全域で発生したかきのへい死の影響により、生鮮向けの出荷が中心となる漁期前半と加工向けの出荷が中心となる漁期後半ともに、生産量は平年を下回りました。

生産額については、漁期を通じて単価は高値で推移しましたが、生産量の減少により、4年ぶりに200億円を下回る結果となりました。

このような中、県では厳しい経営状況にある生産者に対し、当面の運転資金の確保と令和8年漁期に向けた再生産の支援を行うとともに、へい死の原因分析や対策の検討に向けて、学識経験を有する専門家による有識者会議を立ち上げて意見を聴取しているほか、県水産海洋技術センターによる現地実証試験及び室内実験を進めております。

また、令和8年5月に開催した有識者会議での中間取りまとめを踏まえ、短期的な対策として、漁場の塩分や溶存酸素濃度などの漁場環境モニタリングを強化し、へい死リスクに応じた段階的なアラートを発信して筏の移動などの対策実施を呼びかけております。さらに、中長期的な対策として、養殖方法の改善などに向けた生産者の実証試験を支援することで、広島かきの生産体制の再構築に取り組んでいるところです。

これらの取組を着実に実施することで、生産量の回復と全国への安定供給を目指してまいります。

課題となっているかき殻の堆積超過への対応については、へい死防止対策の実施によるかき殻の発生抑制や、令和8年2月に策定した「かき殻を活用した漁場環境改善ガイドライン」に基づく増殖場造成及び漁場の底質改善への活用促進、かき殻製品・用途の利用拡大に係る取組への支援等を通じて、発生量の削減と利用量の拡大を図ってまいります。

最後に、本年も生産、流通、加工及び市場関係者の皆様の御協力をいただき、広島かきの生産、出荷及び価格の動向や、出荷に際しての方針を取りまとめることができました。調査に御協力いただいた皆様に感謝申し上げますとともに、高品質で安全安心なおいしい「広島かき」を今後も多くの方々にお届けできるよう、引き続き生産回復に向けて尽力してまいります。

令和8年9月

広島県農林水産局長 向 井 雅 史

目 次

I	令和8年度 生産出荷対策	1
1	重点推進項目	1
2	生産出荷指導方針	1
3	衛生面における令和8年度「広島かき」重点指導方針	4
II	令和7年度 広島かき生産出荷状況	6
1	生産量	6
2	生産額	8
III	統計・参考資料	9
1	かき生産量の推移	10
(1)	国別生産量	10
(2)	県別生産量	10
2	広島かきの生産出荷状況	11
(1)	年度別生産量等	11
(2)	年度別主要市場別出荷量	11
(3)	月別主要市場別出荷量（令和7年度）	12
(4)	月別加工向け出荷量（令和7年度）	13
(5)	年度別加工品生産量	13
3	国別輸出量（全国）	14
4	国別輸入量（全国）	14
5	年次別生かき購入金額（全国・1世帯当たり）	15
6	都道府県庁所在市別かき購入数量及び支出金額（1世帯当たり）	15
7	かき養殖における主な被害発生状況等	16
8	（参考資料1）広島かきの処理概略図	17
9	（参考資料2）水産エコラベル	18
10	（参考資料3）養殖業における漁業系廃棄物の種類（例）	19
11	（参考資料4）養殖資材流出防止対策	19